

令和元年度 戦略的基盤技術 高度化支援事業 採択のご紹介

大橋鉄工株式会社
取締役
江口 邦彦氏大橋鉄工株式会社
代表取締役社長
大橋鉄工秋田株式会社
代表取締役社長
大橋 雅史氏

ものづくり基盤技術の高度化・新技術の開発に向けた取組を国が支援する「令和元年度 戦略的基盤技術高度化支援事業」(通称「サポイン事業」)に県内企業の研究開発計画が採択されたことを受け、7月16日、秋田県庁内において、プレスリリースが行われました。今後、当センターが事業管理機関となり、研究開発の進捗等を支援して参ります。

※戦略的基盤技術高度化支援事業とは

ものづくり高度化法の認定を受けた中小企業・小規模事業者又は地域未来投資促進法の承認を受けた中小企業・小規模事業者による、ものづくり高度化法に基づく12の技術分野の向上につながる研究開発、その試作等の取組を支援することが目的です。中小企業・小規模事業者が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発、試作品開発等及び販路開拓への取組を一貫して支援します。

採択された秋田県の補助事業者は下記の通りです。

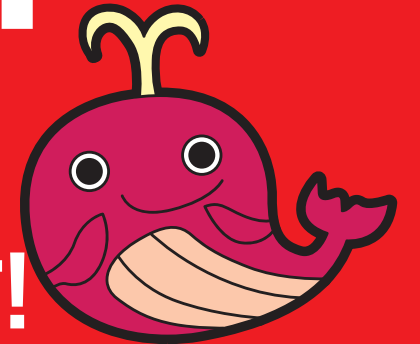
研究開発計画名	技術区分	法認定中小企業者	研究実施機関	事業管理機関
次世代自動車(HV・P HV・EV)に対応した「パーキングロッド等、小径鋼材部品局所異形部品へのレーザ熱処理プロセス開発」	表面処理	大橋鉄工株式会社 大橋鉄工秋田株式会社	秋田県産業技術センター	公益財団法人 あきた企業活性化センター

研究開発の概要

電動化に伴うバッテリー搭載で自動車の重量が増え、AT車に用いられる変速機の部品「パーキングロッド」にかかる負荷が大きくなり、変形や摩耗等の恐れが高まっています。金属表面の強度や耐摩耗性の向上として現在、高周波焼入れを行っています。熱処理時に歪(変形)が生じる等の不具合もあります。一方、レーザ焼入れは全体に与える熱量及び歪を最小限に抑える事ができる反面、小径複雑形状部品への適用には課題があり、これまで実施例はありませんでした。本事業では、小径複雑形状部品に対応できるレーザ熱処理プロセスを開発します。



地域密着!! がんばる秋田の 企業を応援します!



秋田県大災共済協同組合

理事長 村岡 淑郎

〒010-0923 秋田市旭北錦町 1-47 商工会館 TEL.018-864-3320 FAX.018-864-3335

経営課題解決セミナー&無料相談会 経営者・後継者のための 事業承継セミナー

参加
無料

令和元年
9/20
金

～承継は「いつか」ではなく「いま」～

時間／13:30(受付開始13:00～)

会場／キャッスルホテル能代(能代市元町16-6)

定員／30名

セミナー 13:30～15:20

中小企業の大きな経営課題の1つでもある事業承継について、具体的な事例(ケーススタディ)を紹介しながら、円滑な事業承継をどのように進めていくべきか、分かりやすく解説します。

無料相談会 15:30～16:00

秋田県よろず支援拠点による個別経営相談会

申込み方法

下記URLより参加申込書を入力し、メールまたはFAXにて送信
<http://www.bic-akita.or.jp/event/373.html>



講師

M.Sコンサルティング
代表
佐瀬 道則氏

■一般社団法人秋田県中小企業診断協会 代表理事・会長
■商工団体等 登録専門家、秋田大学 非常勤講師、
秋田商工会議所及び湯沢商工会議所 商工調停士



申込み・問合せ先／秋田県よろず支援拠点 TEL.018-860-5605 FAX.018-863-2390 Email: soudan@bic-akita.or.jp